

三 次の文章を読んで、あととの問い合わせに答えなさい。

あしのまろやに秋風のふく夕暮ゆふぐれ、しをり戸ひらきて見れば、門田の稻重かどたげに実のりて、うちかたぶきたるに、露の所せく結びたるなむ、<sup>1</sup> よろづの花紅葉よりも心こころよしと<sup>2</sup>ひとりごつ折しも、まらうど來あひて、「<sup>3</sup>なぞ」といへば、「しかじか」とかかる。笑ひて「むかし山寺にありけるちご、春の末に風の吹くをなげきしかば、あるじの僧、「心ある人かな、花の散らむことを惜しみ給へるか。」と問ふに、「いな、吾が父の植ゑたるはたもののそこなはれむをいたむなり。」といひしに、興さめたりとかや、宇治拾遺の物語に見えたるは、<sup>4</sup>翁に似たり」と<sup>5</sup>あざける。

(『閑田文草』による)

あざける = あざ笑った。

1 <sup>1</sup> よろづ を、現代かなづかいで書きなさい。

2 <sup>2</sup>ひとりごつ とあるが、ひとりごとが述べられている部分を文章中から抜き出し、そのはじめと終わりの五字を、それぞれ書きなさい。

3 <sup>3</sup>なぞ の意味として最も適切な表現を、次のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。

ア 何をしているのですか

イ 何が不満なのですか

ウ どうしたらよいのですか

エ なぜですか

4 <sup>4</sup>翁に似たり とあるが、「まらうど」は翁がだれに似ていると言つたのですか。それを文章中から九字で抜き出して書きなさい。

5 <sup>5</sup>あざける とあるが、「まらうど」は翁のことをどう思つて、あざ笑つたのですか。最も適切なものを、次のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。

ア 風流というものを分かつていいないと思った。

イ 風流というものを分かりすぎていると思った。

ウ 宇治拾遺の物語を読んでいないのだと思った。

エ 退屈で何もすることがないのだと思った。

翁 = あなた。  
心ある人 = 風流がわかる人。  
はたもの = 煙に作るもの。